

レジメン名称: CapeOX+ビロイ

CLDN18.2 陽性の再発進行胃癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 3 週間 Day 1.....8.....15.....22
ビロイ	初回 800mg/m ² 、 2 回目～600mg/m ²	↓
オキサリプラチン	130 mg/m ²	↓
カペシタビン(内服)	2000 mg/m ² /日	↓.....↓ Day1 の夕から Day15 の朝まで 2 週間内服、1 週間休み

レジメンオーダー以外に必要な処方等

Day1～:アプレピタントセット 1 ヒート、1×朝食後、1 日目はレジメン通りに

Day2～:デキサメタゾン (デカドロン) 8mg/日 2×朝昼 3 日間 内服

Day1～:カペシタビン 2×朝夕食後、Day1 タ～ 14 日分

カペシタビンの HFS 予防: Day1～ピドキサール (20) 3T 3× (毎日)、ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3% 1 日数回

カペシタビン投与量	体表面積 (m ²)	投与量 (1 錠 300mg)
	1.36 未満	8 T 2× (2400 mg/日)
	1.36 以上 1.66 未満	10 T 2× (3000 mg/日)
	1.66 以上 1.96 未満	12 T 2× (3600 mg/日)
	1.96 以上	14 T 2× (4200 mg/日)

注意事項

カペシタビン: Day1 の夕から開始です。

ビロイのルートにはフィルター付き輸液セットを使用

ビロイ: インフュージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

初回および 8 週以上あいた時: 心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり (詳細は投与方法の項を参照)

ビロイ: 直射日光に当たらないこと。投与中の遮光は不要、ブラインドを閉める、窓際ベッドは避けること。

ビロイ: 調製後 6 時間以内に投与を終了すること。GLOW 試験ではオキサリプラチンは最大 8 サイクル投与。

【初回】投与速度表

体表面積 (m ²)	ビロイ投与量		生食 必要量	点滴総量 (mL)	投与速度 (mL/時)			
	(mg)	(mL)			0～1時間 ※100mg/m ² /時	1～2時間 ※200mg/m ² /時	2～3時間 ※300mg/m ² /時	3時間～ ※400mg/m ² /時
1.0	800	40	360	400	50	100	150	200
1.1	880	44	396	440	55	110	165	220
1.2	960	48	432	480	60	120	180	240
1.3	1040	52	468	520	65	130	195	260
1.4	1120	56	504	560	70	140	210	280
1.5	1200	60	540	600	75	150	225	300
1.6	1280	64	576	640	80	160	240	320
1.7	1360	68	612	680	85	170	255	340
1.8	1440	72	648	720	90	180	270	360
1.9	1520	76	684	760	95	190	285	380
2.0	1600	80	720	800	100	200	300	400

【2回目以降】投与速度表

体表面積 (m ²)	ピロイ投与量		生食 必要量	点滴総量 (mL)	投与速度(mL/時)		
	(mg)	(mL)			0～1時間 ※75mg/m ² /時	1～2時間 ※150mg/m ² /時	2時間～ ※300mg/m ² /時
1.0	600	30	270	300	38	75	150
1.1	660	33	297	330	41	83	165
1.2	720	36	324	360	45	90	180
1.3	780	39	351	390	49	98	195
1.4	840	42	378	420	53	105	210
1.5	900	45	405	450	56	113	225
1.6	960	48	432	480	60	120	240
1.7	1020	51	459	510	64	128	255
1.8	1080	54	486	540	68	135	270
1.9	1140	57	513	570	71	143	285
2.0	1200	60	540	600	75	150	300

投与方法：1日目	
1	アプレピタント 125mg 内服、パロノセトロン投与開始の 30 分前に
2	生食 100mL ケモセーフロックの フィルター付き 点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
3	パロノセトロン(0.75mg/5mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A、ポララミン注（5mg/1mL）、生食 100 mL 30 分かけて点滴、メインルートから投与
4	生食 50mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 15 分間、残破棄可
5	ピロイ mg , 生食（500 mL バッグ、ピロイ投与量が 1400mg より多い場合は生食 1000mL を使用） ピロイ 100mg/あたり注射用水 5mL で溶解 (液量は投与量により変わるため、ラベルを確認) メインルートから投与 2 時間以上かけて点滴 【初回】【2回目以降】の投与速度表を参照 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気） 投与中に食事が摂れないほどの嘔気、または嘔吐があった場合 投与中断し 30 分様子観察、回復すれば半分の速度で点滴再開、再開 30 分後に元の速度に変更 回復しない場合はプリンペラン 1A 静注（前後生食フラッシュ）、回復しない場合は Dr コール
6	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 15 分間 8 で使用するため使い切らないこと ウォッシュアウト後、メインルートを止める
7	オキサリプラチン mg , 5%ブドウ糖 500mL 2 時間かけて点滴、ケモセーフロックのルートから投与
8	6 の生食を使用、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄